

放送ライブラリー公開番組＜淡路恵子さん関連番組＞

※8階視聴フロアで視聴できます

| 番組ID   | タイトル                                  | 放送局                        | ジャンル      | 内容  |
|--------|---------------------------------------|----------------------------|-----------|---|
| 000323 | NHK劇場 鋳型                              | NHK<br>65分<br>1963/10/27   | ドラマ       | 上野駅…連休の行楽客で混雑する中を一組が山に向かう。羽田空港…女がヨーロッパに旅立った。刑務所の門…スリが刑を終え出所する。家庭裁判所…一組の夫婦が離婚する。ある会社…老サラリーマンが定年退職する。そしてこの日、青年が職を求め上京した。彼の東京生活を中心に、自由を求め外に出ていった人々のその後を織りまぜ、現代社会や人間の自由とは何かを描く。   |
| 001409 | グランドフェスティバル テレビ誕生25年                  | NHK<br>130分<br>1978/3/21   | 芸能・バラエティー | バラエティー、刑事ドラマ、朝のテレビ小説、大河ドラマの4部構成。各時代の歌謡曲や、皇太子ご結婚、東京オリンピックなどの映像も挿入。最後は森繁久弥が詩を朗読、テレビ25年の歩みをつづる。◆「バス通り裏」「お笑い三人組」「事件記者」「夢であいましょう」「ブー・フー・ウー」「赤穂浪士」など。   |
| 009482 | 遙かなるわが町                               | TBSテレビ<br>95分<br>1990/3/12 | ドラマ       | 娘と孫を迎える老教授と周りの人々との交流を描く。◆イベントプランナーの暎子は12歳の息子・邦彦と二人暮らし。仕事で海外に行くことになり、仕方なく小樽に住む父・冬彦に邦彦を頼む。暎子は20年前に自分と母を捨てた父を許していなかった。大学教授の冬吉は、今は引退し友人の王と同居している。冬吉は王らの助けを借りて孫と打ち解けようとするが、都会育ちの邦彦は全く心を開こうとしない。                            |
| 003850 | ドラマスペシャル 天使の誕生                        | 日本テレビ<br>92分<br>1991/3/20  | ドラマ       | 助産婦志望の娘が、様々な出来事に直面しながらもひたむきにより越えていく。◆助産婦学校の鶴田カメは元気ながんばり屋。両親の離婚も恋人の励ましに支えられるが、実習では生命誕生の感動のあまり失敗して自己嫌悪に陥り、恋人とも気まずくなる。傷心のカメは離島で医者をしている父を訪れる。そこで突然の出産に立ち会うことで自信を取り戻し、一人前の助産婦として成長していく。                                    |
| 010704 | 水曜シリーズドラマ 大往生[3]<br>オールド・ブラック・ジョー     | NHK<br>45分<br>1997/7/9     | ドラマ       | 永六輔のベストセラー『大往生』をもとに、老人のたくましさや老い・病・死について考える。◆高齢者福祉センターに出かけた晴吉(森繁久彌)は、かつて所帯を持つと誓った河田倉江(淡路恵子)と再会した。倉江は嫁、孫と暮らしているが嫁との折り合いは良くない。晴吉が仕事場に戻ると、孫娘がボーイフレンドの錠を連れてきていた。錠が倉江の孫だと分かり、晴吉は感慨深く錠を見つめる。                                 |
| 012092 | 火曜サスペンス劇場 弁護士高林鮎子29<br>フレッシュひたち17号の偽証 | 日本テレビ<br>96分<br>2001/11/20 | ドラマ       | 女性弁護士が難事件に挑むミステリー。◆鮎子は、千春から父・常男の4000万円を取り戻してほしいと依頼される。常男がケア付きマンションのために貯めた資金を、住宅会社の社員・志村に持ち逃げされたという。鮎子は調査に乗り出し、志村が他の老人からも金を騙し取っていたことがわかった。そんな矢先、常男が水死体で発見され、さらに志村の死体も見付かった。警察は千春を志村殺しの犯人とにらむが、鮎子は志村の部屋に出入りしていた美子に着目する。 |
| 015869 | 金曜時代劇 茂七の事件簿3<br>ふしぎ草紙[1] 片葉の芦        | NHK<br>43分<br>2003/7/11    | 時代劇       | 江戸の下町に起こる摩訶不思議な事件の数々を、茂七親分が人情味豊かに解決していく。怖くて、温かくて、切ない「ふしぎ人情時代劇」。◆守銭奴で有名なすし屋の主人・藤兵衛が殺され、娘のお美津に疑いがかかった。だが、そば職人・彦次は茂七にお美津の無実を訴える。一方で、げた屋の娘・お園は、藤兵衛の意外な一面を茂七に語る。   |
| 015870 | 金曜時代劇 茂七の事件簿3<br>ふしぎ草紙[5・完] ならず者      | NHK<br>43分<br>2003/8/8     | 時代劇       | 人を刺して逃げている市太郎を捕らえるため、深川の実家を見張っていた茂七は、近所の長屋に住むお春から、市太郎と名乗る男に母・お仲のことを聞かれたと教えられた。茂七はそれを手がかりに市太郎を探すが、数日後、病死した市太郎が発見された。   |
| 201729 | 月曜ドラマシリーズ 妻の卒業式[1]<br>別れてくれないか?       | NHK<br>43分<br>2004/6/28    | ドラマ       | 娘が結婚を宣言したその夜に、夫に離婚を言い出された妻。父親・母親の役割を終えた後の夫婦の関係を考える。◆専業主婦の恭子は、一人娘の里香子から結婚したいと告げられる。喜びも束の間、その夜に夫の隆之から離婚を切り出される。娘の結婚が決まりホッとして思わず口にただけだと隆之は弁解したが、数日後に改めて「今度は本気だ。別れてくれ」と言われ恭子は呆然とする。                                       |
| 201730 | 月曜ドラマシリーズ 妻の卒業式[5・完]<br>また逢う日まで       | NHK<br>43分<br>2004/7/26    | ドラマ       | 里香子の結婚式が近づいた。それは恭子と隆之が離婚する日でもある。恭子は手作りスープの専門店を出す夢を持ち始めていた。結婚式の後、二人は離婚届を提出。隆之は家具づくりの勉強を続けるため飛騨高山へ旅立った。一年後、里香子が出産し二人は一年ぶりに再会する。   |